SUPｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｬｰinﾖﾛﾝ島

南の躍動

奄美のよさを生かした活力ある教育の充実

第　1　号
平成30年5月10日
大島教育事務所

先人の願いをつないでいく自覚と実践

所長　森園　守

大島教育事務所の近くにある「おがみ山公園」は，昔から島民の聖林・信仰の対象として大切にされてきた山であり，現在でも奄美市街のシンボルとして親しまれています。亜熱帯の樹木に覆われた坂道を上っていくと，昭和２８年の奄美群島復帰を記念して整備された復帰記念広場があり，そこには，復帰記念碑や奄美の父として慕われた泉芳朗先生の胸像等があります。その像には，彼の指導者としての経歴や郷土を思う彼の終生変わらぬ信条が書かれています。泉芳朗先生をはじめとする全島民の日本への復帰運動にかけた壮大な取組と情熱を思うとき，改めて先人の偉大さに敬服するとともに，教育に携わる者として先人の思いを未来へつないでいく使命感と職責感を強く感じました。

私たち大島地区の教職員は，先人たちの努力やその願いを受け継ぎ，心を一つにして，奄美のよさを生かした活力ある教育の充実を図り，日々の教育実践に努めていかなければならないのではないかと思います。

また，本地区は美しい自然，貴重な生態系を有している奄美・琉球の「世界自然遺産登録」を目指しております。世界自然遺産登録が実現すると国内外からの観光客の増加による観光産業の活性化，知名度を利用した農林水産物や特産物などのブランド力の向上が期待されます。加えて，自然環境の保護・管理や研究，報告など保全活動等への対策も必要となってきます。これらの環境の中で育つ子どもたちは，これまで以上に様々な夢や希望，目標を掲げ，その実現に向けて胸を躍らせることと思います。

そのとき，私たち教職員は，「子どもがなりたい自分になれる」ような教育環境をつくるとともに，子どもたちの自己実現のために責任をもって取り組まなければならないと考えております。大島地区の教育の振興発展のために尚一層の協力と連携をお願いします。

教育事務所は８名の職員が新たに転入してまいりました。１２市町村の教育委員会，１２９の小・中学校，社会教育（体育）等の関係団体との連携を大切にしながら，大島地区の教育の更なる充実に向けて邁進していきたいと思いますので，よろしくお願いします。

奄美らしい教育に取り組む！

喜界町立早町小学校

早町小学校の５年生がサンゴ礁研究所の先生からサンゴの生態を学んでいる様子

早町小学校では，喜界島が年間２mmずつ隆起している世界でも珍しい隆起サンゴの島であることから，その特色を生かした海洋教育を行っています。

サンゴ礁研究所の協力を得ながらサンゴの成長の観察やサンゴの植え付け，実験，土壌と作物の関係調査などを行っています。

早町小の児童と喜界高校の生徒によるサンゴの成長についての交流学習の様子

喜界町は，早町小だけでなく，喜界小や喜界中，喜界高等学校でも一貫してサンゴの学習を行っています。

奄美の行事・文化財⑩

－SUPアドベンチャーinヨロン島－

与論町が誇れる豊かな自然環境（リーフアイランド）の中で，５人１組のリレー形式で，百合ヶ浜を経由しながら，SUPを漕ぎつなぎ，青少年の健全育成と交流人口の拡大を目的とするイベント！

コース図

（毎年8月開催）

☆　１人1.5～2㎞を漕ぎます。

☆　中学生で乗艇技術のある人が参加可です。小学生は体験ができます。

平成30年度
大島地区教育推進プラン

夢を語り，夢をつかみとる力を奄美の子どもたちに！

～共通実践事項を徹底して取り組み続けて目標達成～

昨年度の成果と課題を基に，平成30年度の大島地区教育推進プランを策定しました。今年度の目標を達成できるように，学校，保護者，市町村教育委員会，各種関係機関，そして大島教育事務所が，「チーム大島」で，奄美のよさを生かした活力ある教育を充実させていきましょう。

本地区教育行政の基本方針

奄美のよさを生かした活力ある教育の充実
～平成３０年度共通実践事項の徹底～

本年度の重点目標

豊かな心と健やかな体

1　いじめ問題への適切な対応

解消率	小・中学校共に100%

2　不登校の未然防止

出現率	小0.30%以下	中2.18%以下

3　体力・運動能力の向上

目標＝次の種目を平均（Tｽｺｱ50）以上に

	小学校	中学校
男子	50m走	長座体前屈 ﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ投げ
女子	50m走	50m走

＊小…2，4～6年，中…1，2年平均

「確かな学力」の定着

1　学力向上（H30鹿児島学習定着度調査県平均との差）

	達成目標
小学校	全教科　県平均1.5ポイント以上
中学校	全教科　県平均-2ポイント以内

2　一人一研究授業の充実（実施した学校の割合）

実施率	小学校85%	中学校65%

3　家庭学習の充実（家庭学習60･90運動の達成学校率）

達成率	小学校95%	中学校90%

＊小学校は5，6年（4年生以下は各学校で設定）

4　読書の充実（小学校100冊，中学校50冊の達成学校率）

達成率	小学校90%	中学校55%

＊全学年の平均冊数

開かれた信頼される学校づくり

1　地域人材を活用した自然・伝統文化的な体験活動の充実

学期１回以上の実施率	小・中学校共に100%

2　不祥事根絶に向けての服務指導の徹底

全職員で分担する服務研修の実施率	小・中学校共に100%

3　学校の業務改善の取組

定時退校日の実施率	小・中学校共に100%

4　学校事務の適正化

目標達成のための共通実践事項

豊かな心と健やかな体

1　いじめ・不登校の未然防止
～早期発見・早期対応～
- ■　「学校楽しぃーと」などの定期的な調査での個別の実態把握
- ■　構成的グループエンカウンターなど年３回以上の人間関係づくりを深める活動の実施
- ■　学校いじめ対策委員会等による組織的な対応

2　心を育てる教育活動の充実
- ■　話合い活動など考え議論する道徳科の授業等の推進
- ■　参加型学習等を取り入れた年３回以上の人権教育研修の実施

3　体力・気力づくりの充実
- ■　教科体育の十分な運動量の確保や主運動につながる補強・補助運動等の工夫
- ■　「一校一運動」，「チャレンジかごしま」等への積極的な取組

「確かな学力」の定着

1　主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善
- ■　諸学力調査結果の経年変化、個別分析による児童生徒ごとの課題把握
- ■　「目標の明確化」「山場の工夫」「確かめ見届け」の授業充実の３ポイントを踏まえた授業の充実
- ■　児童生徒にしっかりと自分の考えをもたせるための書く活動の設定
- ■　対話的な学びに向かう話合いなどの交流活動の充実
- ■　Web問題等を活用した基礎学力の定着を図る繰り返し学習の工夫
- ■　一人一研究授業を通した全職員による指導法改善への取組
- ■　新学習指導要領の研究と移行措置の完全実施

2　家庭学習の充実
- ■　授業と家庭学習を連動させた課題の工夫，家庭学習強調週間等の設定による家庭学習への地域を挙げた取組

開かれた信頼される学校づくり

1　奄美のよさを生かし，地域に開かれた学校づくりの推進
- ■　土曜授業等を活用した奄美のよさを生かし，かごしま学校応援団など地域の人材を積極的に活用した教育活動の充実と地域への積極的な公開

2　実効性のある服務指導の推進
- ■　全職員で分担する服務研修の実施及び年２回の参加型・体験型を取り入れた服務研修の実施
- ■　「信頼される学校づくりのための委員会」の提言の情報発信と活用

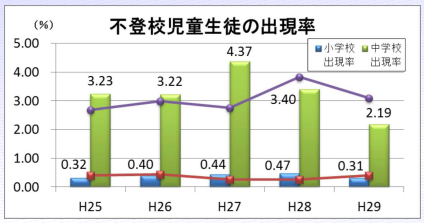
3　学校の業務改善の推進
- ■　定時退校日及び平日週１日・土日のうち１日の原則週２日の部活動休養日の設定と完全実施
- ■　長期休業中のﾘﾌﾚｯｼｭｳｨｰｸ設定などによる業務改善の推進

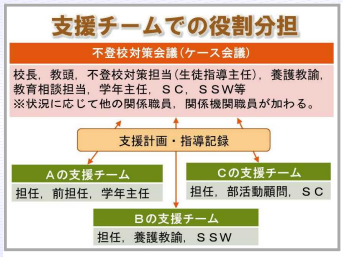
4　学校事務の適正化
- ■　学校事務指導の充実
- ■　事務全般の理解を深めるための効果的な研修の実施

不登校対策は早期の取組・早期の対応がカギ！

平成29年度の大島地区の不登校の状況は，右のグラフから分かるように小・中学校ともに，減少しました。重点目標（折れ線）の数値を下回っており（中学校は２年連続），各学校での取組が功を奏してきています。

在籍する児童生徒全員が元気に登校し，楽しく学習等に励んでほしいものです。効果のあった取組を紹介しますので，未然防止，再登校の取組を進めていきましょう！





チーム支援

定期的に，ＳＣやＳＳＷが参加するケース会議を開くことで，支援チームの役割分担と連携が図られ，効果的に関係機関につなぎ，不登校状況を改善することができた。
（左図を参考に！）

全校体制

不登校対策委員会を核に，校長先生を始め全教職員で不登校児童生徒や家庭の状況を把握したり，家庭訪問をして保護者との連携を図ったりしたことで不登校の解消につながった。

学級（居場所）づくり

授業での発言や学校行事の取組等で，よさを積極的に見付けて「認める」「称賛する」ことを心掛けた学級経営により，信頼関係が深まり，未然防止につながった。

個別支援計画

不登校児童生徒のうち，特別な支援を要する児童生徒の個別の支援計画を全職員で共通理解し，丁寧に対応することで，徐々に登校時間が増えた。